



2 エッセイ／“おかね”を語る
戦国武士の貯蓄 作家 和田 竜



4 インタビュー／扉を開く
為末 大 元プロ陸上選手
自分を生かすための「諦める力」



9 地域の底力——北海道上川郡東川町
**「写真の町」宣言から歩んだ30年の歳月が
北海道東川町の文化と人の心を育てた**

16 対談／守・破・創
辻井伸行 ピアニスト
佐藤健裕 日本銀行政策委員会審議委員
クラシック音楽の魅力を多くの人に伝えたい



20 お金の源——素材の歴史と作り方③
金貨 齋藤 努 国立歴史民俗博物館教授

24 FOCUS → BOJ ⑩ 国際局「国際収支課」の仕事
日本の「家計簿」——国際収支統計

28 日本銀行のレポートから
「地域経済報告」(さくらレポート) —2015年7月—
地域の視点「各地域における消費関連企業の最近の販売動向と事業戦略」

32 **金融高度化セミナー(地域創生に向けた創業支援への取組み)を開催**

35 トピックス
日銀本店本館を舞台にドラマ撮影／2015年国際コンファランスを開催 ほか



39 AIR MAIL from Basel
スイス人の奇抜な発想

表紙のごとば

日本銀行福島支店は、東北地方初の拠点として、明治三十二年(一八九九)に出張所として開設されました。その後、明治四十四年(一九一一)に、支店に昇格しました。

表紙の店舗は三代目店舗として昭和五十三年(一九七八)に建て替えられ、現在も使用しているものです。ちなみに、二代目店舗は、日本銀行本店本館や東京駅を設計した辰野金吾博士とその高弟・長野宇平治の共作で、大正二年(一九一三)に建てられたレンガ造りでした。三代目店舗は、その後の七十年ほどの福島県経済の発展を反映し、二代目店舗に比べ延べ床面積で二倍、金庫収容能力は六倍の規模となりました。また、耐震性も比較にならないほど高いものにされました。

平成二十三年(二〇一一)三月十一日、東日本大震災が発生し、福島県は甚大な被害を受けました。幸いなことに、三代目の現店舗は、地震の被害をほとんど受けて、営業を継続できました。福島支店は、福島が大震災や原発事故の被害を乗り越える手助けをこれからも続けたいと思います。



表紙・画 北村公司